

ifia JAPAN 2020食の安全・科学フォーラム 第19回セミナー&国際シンポジウム

食品の輸出入拡大と穀物の衛生管理

Expansion of food imports and exports and grain sanitation management

主催: 日本食品微生物学会・日本食品衛生学会・日本食品化学学会
 共催(予定): 日本食品衛生協会、食品産業センター、食品化学新聞社
 協賛(予定): 日本食品添加物協会、日本食品科学工学会、日本防菌防霉学会、日本調理科学会

日時: 2020年4月22日(水) 10時00分~16時50分(受付開始9時30分)
 場所: 東京ビッグサイト 青海展示棟B セミナー会場 201
 募集人員: 150名(事前申込み締切 4月14日 定員になり次第締切)
 参加費: 事前申込み 主催学会・共催団体会員 全日(弁当付き) 9,000円
 事前半日 主催学会・共催団体会員 半日(午前または午後) 6,000円
 事前申込み 一般全日(弁当付き) 12,000円
 事前半日 一般半日(午前または午後) 9,000円
 当日申込み(会員割引・弁当なし) 15,000円
 申込: 下記の公式ホームページより3月上旬頃から受付開始

プログラム(予定)

- 10:00-10:02 総司会挨拶 日本食品衛生学会代表 宮下 隆氏
 10:02-10:05 主催者代表挨拶 日本食品化学学会代表 佐藤 恭子氏
- 第一部 食品の輸出入に伴う規格基準と国際整合性(質疑応答は随時)**
 座長: 一般財団法人食品産業センター
- 10:05-10:45 農林水産物・食品の輸出促進事業について(米と米粉を例にして)
 農林水産省政策統括官付 農産企画課 米穀貿易企画室 課長補佐 島本 健一氏
- 10:45-11:25 農林水産物の残留農薬対策と国際整合性
 厚生労働省医薬・生活衛生局食品基準審査課 残留農薬等基準審査室 井上 隆弘氏
- 11:25-12:05 食肉の輸出入拡大に向けた取り組み(仮)
 厚生労働省医薬・生活衛生局 食品監視安全課 担当官
- 昼休み (12:05~13:30) —————
- 第二部 穀物の衛生管理** 座長: 公益社団法人日本食品衛生協会 鶴身 和彦氏
- 13:30-14:10 穀物の有害金属・元素の検出法と国内外の規格基準
 国立医薬品食品衛生研究所 食品部第4室長 鈴木 美成氏
- 14:10-14:50 穀物の残留農薬検査手法における最新動向(仮)
 一般財団法人残留農薬研究所 試験事業部 坂 真智子氏
- 休憩 (14:50~15:00) —————
- 15:00-15:40 食物アレルギー表示(穀物を中心に)の現状
 国立医薬品食品衛生研究所 生化学部第3室長 安達 玲子氏
- 15:40-16:20 米国における穀物の原料事情 アメリカ穀物協会 日本代表 浜本 哲郎氏
 16:20-16:40 質疑応答 午後の部
- 16:40-16:50 閉会挨拶 日本食品微生物学会代表 工藤 由起子氏

お申し込み: <http://www.ifiajapan.com>

お問い合わせ事務局: (株) 食品化学新聞社 今立、森下 TEL 03-3238-7818